

「逃げ遅れゼロ」をめざして取り組む常総市に学ぶ

市議会災害対策特別委員会が先進地視察

市議会災害対策特別委員会（池田尚江委員長）は16、17日と茨城県常総市、水戸市を訪れ、両市で取り組んでいる水害、地震などの対策について学んできました。

このうち常総市は3年前の9月、関東・東北豪雨で鬼怒川の決壊によって地域の3分の1が浸水し、大きな被害が出たところでした。上越市としても水害対策は避けて通ることが出ない重要課題、マイタイムライン（自分自身の防災行動計画）など常総市の先進的な取組を学ぶために視察、研修をさせていただきました。

研修では、常総市の溝上博防災危機管理監が「関東・東北豪雨の災害状況・避難情報等の発令状況について」と題し、スライドを使って説明してくださいました。

テレビでは見ていたのですが、現地で担当などが撮った映像はすさまじいものでした。説明では、「勧告、指示がバラバラだった」「救助者4258人のうち、3割はヘリコプターで救出した」「電柱に最大浸水予想標高を示したが、反対のところも10数か所あった」「避難情報を聞いた市民は55%が避難したが、これに

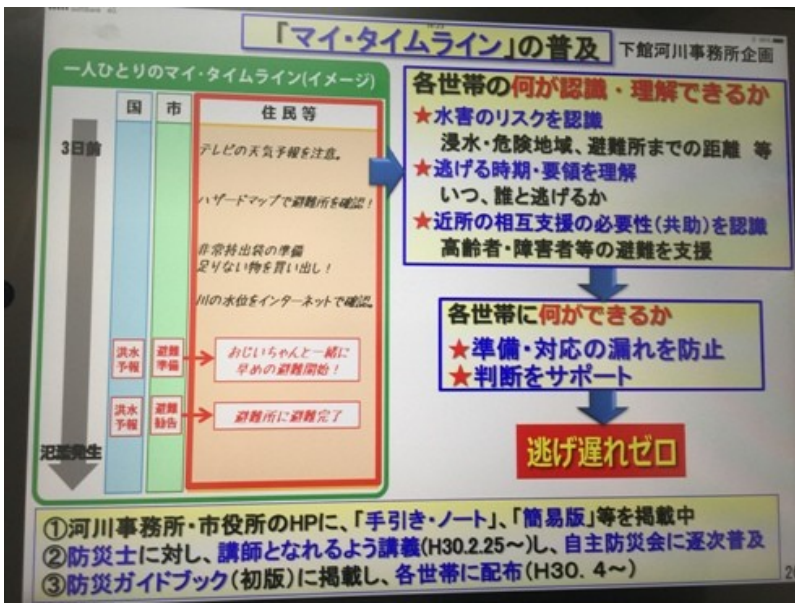
は近所からの呼びかけが有効だった」「これまでの訓練はシナリオのある訓練しかしていかなく、イベント型訓練だった」となどと率直に語っていただきました。

参考になったことはいくつもあったのですが、そのひとつはマイタイムラインです。個人や家庭の避難行動計画をB4サイズの防災ハンドブックのなかに書き込まれるようにしてあるのには感心しました。一番大事なものの一つに位置づけられていたのです。ま

た、「自分は大丈夫、関係ない」という正常性バイアスについて、危機管理監は、「みんなにある。自分にもある」とのべたうえで、NHKの調査結果などで常総市の避難率が高くなっていくことも紹介されました。その中で、「家族や友人に促されて避難した」が4%にもなっていることが出ていきましたが、これは重要なポイントだと思われました。



【ヒイラギモクセイ】モクセイ科の常緑小高木。漢字で「柗木犀」と書きます。ギンモクセイの雑種のようなです。石巻市の小さな路地で見つけました。花期は10月。花言葉は、「ためらい」「躊躇」。10月2日、石巻市にて撮影。



水戸市役所で保温シートなど防災用品を手にする私。

市民からの声、次々と

上越市がくびき希望館にて開催した「第6次総合計画後期基本計画（案）説明会」に参加してきました。市民の参加は近隣の地域協議会委員を中心に20人ほどでした。

市の説明の後、吉川区、三和区、大潟区在住の市民から、「人口減少対策の効果が見えていない」「学校の統廃合のことが書かれているが、いま教育で一番大事なのは新潟や新発田などで発生したいじめ自殺等の悲劇をなくすことだ」「公の施設には地域にとってなくしたくない施設がある。『対象に聖域はない』などという言葉が新聞などに踊っているが、市民とよく相談してやってほしい」など多分野にわたる発言が相次ぎました。

議会でも審議されます。



はしづめ法一の
活動レポート

No.1880 2018.10.21
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
 「ホーセの見
 てある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

最近の自動車は至れり尽くせりです。シートベルトを忘れれば、ピーピー。車を止めて、ライトを点けっぱなしのときも、ピピッと教えてくれます。車内にカギを忘れていけば、ロックできない。

「まあ、こんなことも」と思うようなこともちゃんと車の方でやってくれるんですね。ありがたいというか便利な時代になったものです。そんななか、先日、面白い体験をしました。

長野県須坂市から友人がわざわざブドウを届けに来てくれるという日でした。お土産に新潟の新米を、と思った私はその日の午前、玄米が三〇キロ入ったコメ袋を車の助手席に載せました。精米するためです。

助手席はふだん人間が乗る場所ですが、コメをつくるときはいつも助手席に載せてコイン精米機のあるところへ向かいます。この日はコメ袋を横倒しではなく、縦にして載せました。

走り始めてすぐのことでした、運転席の前方からピーピーという音が鳴り始めたのは。「あれっ、おれのシートベルトが金具によくはまっていないのかな」と思って、いったん抜いてはめなおしました。ところが一分と走らないうちにまた、ピーピーと鳴ったのです。

そうか、シートベルトではないのか。じゃ、何だろう。助手席側のドアが半ドアになっているのかも。そう思った私は、車を止めて、ドアをしめなおしました。よし、これで大丈夫だろうと思いましたが、

ところが、これで終わりにならなかったのです。再び、車を動かし始めたら、すぐにピーピーと来たのです。

こうなったら、ものは試しだと思い、コメ袋にシートベルトをかけてみました。シートベルトをかけてもらったコメ袋は運

転席から見ると、なかなか似合います。少々下腹が出ていますが、いかにも満足そうな雰囲気が出ていました。こうやってみると、コメ袋も三〇キあるんだから一人前、シートベルトをつけてもらいたかったのかも。私はそう思いました。

で、どうなったかといいますが、ピーピーがしなくなったのです。もうピーピーでもない、完全にお知らせ音がしなくなったのです。

思いがけない展開に感心した私は、今回も情報交流サイト、「フェイスブック」に投稿しました。投稿を読んでくださった人の中には私と似たような体験をされた人が多く、次々とコメントが寄せられました。

「あるある、資料カバンで鳴ったことがあります」
「六キロでも音が鳴り、載せる場所をちよつと前にしてみました。反応する場所があるみたい」

「私も買いたいのしたものを乗せていて鳴りました。人間でなくても鳴るんですね」
「買い物して助手席に置き、走り出したらその音が。車の故障かと思ひ……」

私だけでなかったことを確認できて、なんとなくうれしくなりました。じつは、この件があるまで車の使用説明書を丁寧に読んでいなかったのですが、シートベルトについてめちゃんと書いてありました。

●同乗者にも必ずシートベルトを着用
●助手席に荷物などを置くと、センサーが重量を感知して警告灯が点滅し、ブザーが鳴ることがあります。

つまり、一定の重量がある荷物は同乗者と同じ扱いがされて、ピーピーと鳴ることがあるのです。三〇キもあるコメ袋ですからセンサーに反応したのでしょう。いい勉強になりました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月10日(水)	10月17日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.040	0.047
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.040	0.050
頸南消防署	0.050	0.070
東頸消防署	0.040	0.040
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.057



【ますや創建150年】

高田の仲町6丁目にある国登録有形文化財、「大鋸町ますや」が創建されて150年。14日、記念祭が行われ、参加してきました。

「大鋸町ますや」はNPO法人「頸城野郷土資料室」理事長、石塚正英さん所有の町屋です。この日は雁木保存や歴史的建造物保存修復などで活躍している清水恵一さんが講演、「明かりとり用の天窓」「商売をしている家の揚げ戸」など興味深い話をしてくださいました。

【二本木駅鉄道まつり】

二本木駅鉄道まつりを14日、見てきました。会場では振興会の幹部の方、市役所職員などと話が出来ました。頑張っていますね。食堂ニューミサの関係者の方からも声をかけていただきました。もちろん、1杯100円の味噌ラーメン、食べましたよ。

入場券を買い、駅の構内にも入り、スイッチバックが実際にどう行われるのかも目で見てきました。スイッチバックをわかりやすく説明するために3年前にジオラマ(立体模型)が作られていること、多くの人に知らせたいです。



春よ来い

第五二八回 一人前

最近の自動車は至れり尽くせりです。シートベルトを忘れれば、ピー。車を止めて、ライトを点けっぱなしのときも、ピピッと教えてくれます。車内にカギを忘れていけば、ロックできない。「まあ、こんなことも」と思うようなこともちゃんと車の方でやってくれるんですね。ありがたいというか便利な時代になったものです。そんななか、先日、面白い体験をしました。

長野県須坂市から友人がわざわざブドウを届けに来てくれるという日でした。お土産に新潟の新米を、と思った私はその日の午前、玄米が三〇キロ入ったコメ袋を車の助手席に載せました。精米するためです。

助手席はふだん人間が乗る場所ですが、コメをつくるときはいつも助手席に載せてコイン精米機のあるところへ向かいます。この日はコメ袋を横倒しではなく、縦にして載せました。

走り始めてすぐのことでした、運転席の前方からピーピーという音が鳴り始めたのは。「あれっ、おれのシートベルトが金具によくはまっていないのかな」と思って、いったん抜いてはめなおしました。ところが一分と走らないうちにまた、ピーピーと鳴ったのです。

そうか、シートベルトではないのか。じゃ、何だろう。助手席側のドアが半ドアになっているのかも。そう思った私は、車を止めて、ドアをしめなおしました。よし、これで大丈夫だろうと思いましたが、

ところが、これで終わりにならなかったのです。再び、車を動かし始めたら、すぐにピーピーと来たのです。

こうなったら、ものは試しだと思い、コメ袋にシートベルトをかけてみました。シートベルトをかけてもらったコメ袋は運

転席から見ると、なかなか似合います。少々下腹が出ていますが、いかにも満足そうな雰囲気が出ていました。こうやってみると、コメ袋も三〇キあるんだから一人前、シートベルトをつけてもらいたかったのかも。私はそう思いました。

で、どうなったかといいますが、ピーがしなくなったのです。もうピーでもビでもない、完全にお知らせ音がしなくなったのです。

思いがけない展開に感心した私は、今回も情報交流サイト、「フェイスブック」に投稿しました。投稿を読んでくださった人の中には私と似たような体験をされた人が多く、次々とコメントが寄せられました。

「あるある、資料カバンで鳴ったことがあります」
「六キロでも音が鳴り、載せる場所をちよつと前にしてみました。反応する場所があるみたい」

「私も買いたいのしたものを乗せていて鳴りました。人間でなくても鳴るんですね」
「買い物して助手席に置き、走り出したらその音が。車の故障かと思ひ……」

私だけでなかったことを確認できて、なんとなくうれしくなりました。じつは、この件があるまで車の使用説明書を丁寧に読んでいなかったのですが、シートベルトについてちゃんと書いてありました。

●同乗者にも必ずシートベルトを着用
●助手席に荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅し、ブザーが鳴ることがあります。

つまり、一定の重量がある荷物は同乗者と同じ扱いがされて、ピーピーと鳴ることがあるのです。三〇キもあるコメ袋ですからセンサーに反応したのでしょう。いい勉強になりました。

よしかわ保育園児童もダンスを披露

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。
消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月10日(水)	10月17日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.040	0.047
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.040	0.050
頸南消防署	0.050	0.070
東頸消防署	0.040	0.040
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.057

吉川区の敬老会が11日、ゆったりの郷で行われました。今回は区内在住の75歳以上、1005人が対象。会場には204人が参加しました。参加率は20.3%でした。

式典では吉川総合事務所の小林所長が市長の式辞を代読し、参加者に祝いの言葉をのべました。議会代表としての祝辞は杉田副議長です。市議会の少子高齢化対策の取り組みなどを紹介し、参加者を激励しました。私からは、「人生100年の時代が近づいている。どう

生きるかを考え始めているが、先日亡くなった女優の樹木希林さんの、とこさん家族を愛す、金の力にものをいおせない生き方をする、自分の体を使いきる姿勢が参考になる」などとのべ、万歳三唱の音頭をとらせてもらいました。

第2部の祝賀会では今回、初めてでしょう、よしかわ保育園の園児たちがお遊戯を披露してくれました。孫の姿を見ようと席を立って見ていたおばあちゃんたちもいました。「ささぐり演芸」のお二人は笑いをとるのがとても上手で、会場はたびたび笑いの渦に。そしておなじみの「ゆったりの郷中村一座」は今回は「固定忠治」の出し物でした。これも楽しい演芸でした。



写真は祝賀会の前に記念撮影をする金婚式を迎えたり組のご夫婦。